

九里と十三里の話

食欲の秋を代表するサツマイモが美味しい季節となりました。このサツマイモ。江戸時代に救荒作物として全国に広まりましたが、京都では「八里半」と呼ばれていました。これは味が「クリ(九里)に近い」から八里半という事で、さらに関東では、「十三里」と呼ばれ、「クリ(九里)より(四里)美味しい」九十四十三」と駄洒落で親しまれました。この事が所以となって十月十三日は焼き芋の日です。また今年には梅田にサツマイモがもたらされて二百年目です。秋の恵みを頂いて、コロナ禍に負けないように致しましょう。

十月からの社務について

コロナ禍による緊急事態宣言が今月一日を以て解除となった事から、茶屋町の御旅社では御朱印帳への記帳を再開させて頂きます。受付日は基本的に土日十三時〜十七時となります。なお、鈴緒、手水柄杓、境内でのマスク着用につきましては、大阪府からの段階的な緩和方針に従い、暫くは現状のままと致します。何卒ご理解ご協力の程お願い致します。

御本社東側 玉垣奉賛事業

神山町の当宮御本社では、境内東側に玉垣を建立する事業を現在進めております。

この事業はもともと、平成三十年の台風被害で本殿大屋根、稲荷社屋根など、各所に被害が及び、その修復費用等の為、玉垣建立による募財活動が始められましたが、その後のコロナ禍により、工事の延期が続き、ようやく本年になって取り掛かかれる段取りとなりました。

基本的には当宮の古くからの崇敬者の方々に優先に寄進のご案内致しておりますが、奇しくも本年、当宮主祭神の嵯峨天皇さまが、当地を行幸されましてから一千二百年の慶節に当たる事から、範囲を拡大し、ご希望の方にもご案内をさせて頂く形となりました。

この令和の御代、梅田の大神さまの御神前にお名前を残す貴重な機会となります。ご希望の方はご案内をお送りさせて頂きまますので、左記事務局まで「玉垣奉賛のご案内を送付下さい」とご連絡下さいませ。追ってご案内をお送りさせて頂きまます。

網敷天神社 御本社 玉垣奉賛事業 事務局

電話 ○六一六三七一一五八六

※留守の時は留守電にご伝言下さい

メール tunashiki@jinja.jp

神社豆知識「社号碑」

神社の名前を社号といい、その社号を記した石碑などを社号碑といいます。神社の門前等に建てられる事が多く、その神社が何という神社かを表す表札のような役割を持っています。江戸時代頃から各地の神社で建てられるようになりました。

材質は花崗岩などの石で作られているものが多く、古いものはその地域の石材を使っています。大阪では御影石や北木石のものが多く見られます。明治以後のものは各地の石材が用いられており、その中でも最高級のものには香川県の庵治石というもので、現在では入手が困難になっています。

形状については決まりがある訳ではありませんが、殆どは四角柱形で、中には自然石に文字を彫り込んだものや、円柱形、装飾を施したのものなどもあります。

大きな神社では官幣や国幣と彫られた跡を消したのも見られますが、これは戦後、GHQにより社格制度が廃止された事の名残です。

この社号碑で最も重要なのはその文字であり、これはその神社を表す事から、その神社の宮司や書家、神社に縁の深い方に揮毫(文字を書く事)を依頼する事が多く、その時代の書家の筆跡を知る貴重な史料ともなっています。

当宮におきましても、現在、御本社の東門で進めております玉垣事業では、併せて新しい社号碑を建立する事となっており、来月十日にお披露目の予定です。

今月の暦

【祭礼】 秋祭十五日：梅田の秋祭り。神事のみ

【節気】 寒露(八日)：露が冷気によって凍りそうになる頃
霜降(廿三日)：露が冷気によって霜となって降りる頃

【雑節】 十三夜(十八日)：旧暦九月十三日のお月見。豆名月
秋の土用(十月廿日〜十一月六日) 土掘りは遠慮

【大安】 十月四日、八日、十四日、廿日、廿六日

【朔望】 朔月(六日)、上弦(十三日)、満月(廿日)、下弦(廿九日)

【旬】 野菜 大豆、カブ、南瓜(日本種)、生姜、芋全般、
果物 柿、梨、栗、ザクロ、りんご(早生)

【魚介類】 秋刀魚、イワシ、太刀魚、鮭、コウイカ、
【その他】 きのこ類、菊、秋バラ、金木犀、コスモス

網敷天神社SNS、地図サイト



編著 つなしかてんじんしゃ
網敷天神社 禰宜(御旅社 神主)

白江 秀 知

